

はじめに 10

第I章 スコットランド女王メアリーの暗号 17

“秘密の書記法”の進化／アラビアの暗号解読者たち／暗号文の頻度分析／西洋のルネサンス／バビントン陰謀事件

第II章 解読不能の暗号 77

ルイ十四世の大暗号と鉄仮面／ブラック・チェンバー／バベッジ対ヴィジュネル暗号／私事通信欄から埋蔵金まで

第III章 暗号機の誕生 146

暗号の聖杯／暗号機の発達——暗号円盤からエニグマまで

第IV章 エニグマの解読 198

鳴かないガチョウたち／コードブックの奪取／匿名の暗号解読者たち

第V章 言葉の壁 260

失われた言語と古代文字の解読／線文字Bの謎／“つなぎ”音節／馬鹿げた脱線

第VI章 アリスとボブは鍵を公開する 324

神は愚か者に報いたまう／公開鍵暗号の誕生／最有力候補——素数／公開鍵暗号——もう一つの歴史

第VII章 プリティー・グッド・プライバシー 389

大衆のための暗号——か？／ジマーマンの名誉回復

第VIII章 未来への量子ジャンプ 420

暗号解読の未来／量子暗号

付録 暗号に挑戦——二万ポンドへの十段階 464

補遺 467

謝辞 486

訳者あとがき 青木薫 490